

小学校第5学年社会科学学習指導案

1. 日時 令和3年9月30日(木) 第2時限

2. 場所 5年2組教室

3. 学年・組 5年2組 (34名)

4. 大単元名「2 わたしたちの食生活を支える食料生産」

小単元「4 これからの食料生産」

5. 小単元目標

日本の食料生産の現状や課題、実際の取り組みについて理解し、これからの日本の食料生産のあり方について考えることができる。

6. 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none">● 日本で売られている食料は外国から輸入しているものが多いこと・食料自給率が低いことを理解することができる。● 日本の食料生産に関する取り組みについて理解することができる。● グラフや資料から正しい情報を読み取ることができる。
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none">● 「なぜ」、「もし」の問いに自分の予想を立てることができる。● 国内の食料生産の概要を捉え、国内の食料の良さを考えたり、発表したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">● 班全体で協力し、発表することができる。● 問いに対して自分の考えをロイロノートで提出したり、発表したりすることができる。

7. 児童観

本学級の児童は、男女とも仲が良く、休み時間には友だち同士で遊んだり、話をしたりして楽しく過ごしている。また困っている友だちや配布物を配っている児童に対して、よく声をかけて手助けしている様子が見られる。

学習においては、自分の考えを持つことができているが、手を挙げて発言することができる児童は限られている。しかし、普段の授業で頻繁にタブレットを活用しているため、情報処理能力が身につくことができ、全員がスムーズに使用することができる。そのため、ロイロノートで意見を提出する活動では、ほとんどの児童が考えを提出することができ、グループワークでも活発に意見を交わし、楽しんで活動している。したがって、グループワークを積極的に取り入れることで本学級の児童の良さを活かしたい。

8. 教材観

本単元では、学習指導要領第5学年の内容にある(2)ア(イ)生産物(農産物や畜産物、水産物)の輸入など外国との関わりに着目して、日本の食料の輸入品目や相手国、食料自給率などについて調べることやイ(ア)農業や水産業の盛んな地域の人々が、新鮮で良質なものを生産し出荷するために生産性や品質を高める等様々な工夫や努力を行っていることについて理解することを受けて設定されている。食料は普段、当たり前口にしてはいるが、実は外国から輸入されているものがあること・食料生産についての問題を解決するためにどのような取り組みがなされているのか、さらに自分たちにできることは何があるのかを考えさせる内容が段階的に設定されている。子どもたちにとって身近にある食料の例をとりあげることで、我が国の食料生産について関心を持たせ、さらにその特色を理解することに適した教材である。

9. 指導観

本単元では、児童の身近にあるスーパーのチラシや最近放送されていたニュースを用いながら、食料生産の課題や取り組みについて児童の関心を引き出していく。また、自分の気づいたことや考えをロイロノートで発表する活動を行うことで、他の児童と意見を交流して考えを深めていく。授業では、今日の学習で疑問に思ったことや学ぶことができたことなど、児童のふりかえりから次の時間の導入につなげていき児童に食料生産について興味をもたせていきたい。グループワークでは、コロナ禍で行われることから短時間で深い活動にできるよう、司会係と記録係の児童を決め、進めていく。

本時の学習では、これまで学習した国内の食料生産の概要を捉え、消費者の願いをかなえるためにはどのような方法があるのかを考えさせたい。

10. 単元の指導計画と評価基準（全9時間）

時数	学習活動 めあて (○)	指導上の留意点 (◇)・評価 (◎)
1	<p>○日本で売られている食料はどこから来ているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書のグラフをみて日本は大量の食料を輸入していることについて考える。 ●実際に売られているスーパーのチラシを使って、国産よりも外国産の違いについて考え、ロイロノートで交流する。 	<p>◎日本で売られている食料は外国から輸入しているものが多いことを理解することができる。(知・技)</p> <p>◎グラフから正しい情報を読み取ることができる。(知・技)</p> <p>◇実際に使われているチラシを資料として取り入れる。</p> <p>◎「なぜ安いのか」について、自分なりに予想を立てることができる。(思・判・表)</p>
2	<p>○どうして外国産の食料の方が安いのかについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食料自給率について理解する。 ●グラフや資料を活用して外国産の食料が安いことについて考える。 	<p>◎日本の食料自給率が低いことを理解することができる。(知・技)</p> <p>◎グラフから正しい情報を読み取ることができる。(知・技)</p> <p>◇NHK for school 「外国産の安い食料」の資料を活用して授業を進める。</p>
3	<p>○日本は外国からの輸入に頼ったままでだいじょうぶなのか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●“もし外国の牛が病気になったら？” “一番輸入量の多い小麦が輸入できなくなったら？” の2つの問いに対して予想し、ロイロノートで交流する。 	<p>◎「もし」の問いに自分の予想を立てることができる。(思・判・表)</p> <p>◎ロイロノートで自分の考えを提出することができる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>◇最近放送されたNHKニュースから国際問題に輸入があることを知り、身近な課題に感じてもらう。</p>

4	<p>○日本の食料生産について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 漁業と農業についてのグラフや資料を読み取り、日本の食料生産について考える。 	<p>◎グラフから正しい情報を読み取ることができる。(思・判・表)</p> <p>◇教科書グラフのみを児童に提示する。</p>
5	<p>○水産物を取り続ける工夫について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水産物についての課題を知り、解決に向けて実際の取り組みについてタブレット・教科書・本などで調べ、発表する。 	<p>◎班全体で協力して、発表することができる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>◎日本の食料生産に関する取り組みについて理解することができる。(知・技)</p> <p>◇机間指導を全班に対して行えるよう、声かけをする。</p>
6	<p>○米農家さんの取り組みについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブランド米の存在、高品質な農作物をつくる活動を行っていることを理解し、具体的な取り組みについてタブレット・教科書・本などで調べ、発表する。 	<p>◎班全体で協力して、発表することができる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>◎日本の食料生産に関する取り組みについて理解することができる。(知・技)</p> <p>◇ブランド米の具体的な例を示す。</p>
7 本時	<p>○生産者の立場になって取り組みについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 消費者の思いに対してどのような取り組みがあるのかタブレット・教科書・本などを用いて調べる。 	<p>◎国内の食料生産の概要を捉え、自分の考えを持つことができる。(思・判・表)</p> <p>◇机間指導を全班に対して行えるように、声かけをする。</p>
8	<p>○生産者側の立場になって、PR文を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前時の授業で考えた班の意見を生かして、自分たちのお米のPR文を考える。 	<p>◎国内の食料生産の概要を捉え、食料の良さを考えることができる。(思・判・表)</p> <p>◇机間指導を全班に対して行えるように、声かけをする。</p>
9	<p>○班で考えたお米の良さを伝えよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 班で考えた活動の発表会を行う。 	<p>◎班全体で協力して発表することができる。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>◇前時の授業で完成させたワークシートを提示する。</p>

1 1. 本時の指導案 (7/9)

(1) 本時の目標

これまでの食料生産で学んだ内容を生かし、生産者側に立って考えることができる。

(2) 本時の評価基準

国内の食料生産の概要を捉え、自分の考えを持つことができる。(思・判・表)

(3) 本時の展開

時間	学習活動	(主体的に学習に取り組む態度) 指導上の留意点 (◇)・評価 (◎)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までのふりかえりを行う。 ・めあての確認 	◇お米の資料を提示する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 生産者の立場になって消費者の願いをかなえる取り組みについて考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者側の立場になって、どのようなお米を買いたいかを考える。 	◇生産者・消費者について確認する。
展開 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者側に立って、消費者の思いを叶えるためにどのような取り組みがあるのか考え、調べる。 	◇机間指導を行い、児童に声掛けする。 ◇タブレット・教科書・本などを活用する。
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが調べたことを班で交流する。 	◇グループワークのルールを確認する。 ◇記録役の児童に班の意見をノートに書いておくことを伝える。
7分	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で調べた意見を交流する。かなえる取り組みについて調べたことを発表する。 	◇児童からの意見を板書する。 ◇いいと思った友だちの意見をノートに書くように伝える。
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の立場として、自分の考えをノートにまとめる。 ・参考にしたい意見をノートに書いていく。 	◇次時に向けての具体的に参考にしたい意見を書かせる。

		<p>◎思考・判断・表現に関する評価</p> <p>A 国内の食料生産の概要を捉え、自分の考えを持ち、友だちの意見にも関心を持つことができる。</p> <p>B 国内の食料生産の概要を捉え、自分の考えを持つことができる。</p> <p>C 自分の考えを持つことができない。</p>
<p>まとめ 3分</p>	<p>・ふりかえりをする。</p>	<p>◇次の授業の見通しを持たせる。</p>

12. ご高評価欄